

## Jeanne Bem 名誉教授連続講演会

この招聘講演会は、JSPS 科研費 (JSPS26370372) 研究課題「フローベール 『聖アントワヌの誘惑』におけるファミ・ファタル神話研究」(研究代表者:大鐘敦子)を深める目的で実施するものです。2011年にはジゼル・セジャンジェール教授、2012年にはイヴァン・ルクレールフローベール研究所長を JSPS 科研費 (JSPS23520406)「『サラムボー』におけるファミ・ファタル神話研究」を特に「歴史」「ファタリテ」の視点から深める目的で招聘講演会を開催し、現在、招聘講演会の最大テーマであった「ファタリテ」を取り入れるべく「ファミ・ファタル」研究を進めているところです。

さて、今回の招聘講演会においては、『聖アントワヌの誘惑』における「ファミ・ファタル」「ファタリテ」だけでなく「エディション」「フィクション」「イメージ」という新しいテーマから研究を深めご講演頂くべく、ジャンヌ・ベム名誉教授を招聘致しました。従来、見過ごされがちな「初版における主体とイメージの問題」(於:関東学院大学)および「第2版における断片の美学」(於:大阪大学大学院)についての特別講演をお願いしています。

また、『ボヴァリー夫人』のプレイアッド版校訂者として名高いジャンヌ・ベム女史の来日ですので、第二回講演会は、日本フランス語フランス文学会本大会特別講演にて、フランスでのプレイアッド版出版記念会議(2014)では取り上げられなかった内容について、「プレイアッド版『ボヴァリー夫人』校訂作業の舞台裏」として、「エディション」の問題を議論するためご講演を依頼しました。

なお、「ファタリテ(宿命)」「ファミ・ファタル」という同テーマの研究を科研費プロジェクトとして継続中のため、ISBNのないプロジェクト報告書を引用されたり、招聘講演会の議論を活用して論文を発表される場合には、必ず、科研費研究代表者大鐘までご連絡頂き了解を得た上で、その旨を論文に明記して頂くようお願い申し上げます。

2017年4月26日

関東学院大学法学部 大鐘敦子